R入門 第五回 パッケージの魅力

横浜国立大学 酒井信介

パッケージの魅力とは?

- 数値解析法で必要となるアルゴリズムについて、自分で全てプログラミングすることは容易ではない
- 主要なアルゴリズムは殆ど開発済.単にインストールさえすれば、数行程度のコマンドで利用が可能。
- 動作確認のために、データもパックで提供されることが多い

例1

- 極値統計学のモンテカルロシミュレーションを やりたいとする
- このとき、ワイブル分布やグンベル分布の乱 数発生関数が必要になる
- ・正規乱数については
 - dd <- rnonm(100)のような関数が標準である
- 極値分布については標準ではついていない 解決法→極値分布パッケージevdの利用

利用例1

```
Install.packages("evd") #自分のPCにインストールされる. 一度だけ
実行
```

```
library(evd) #以後は, 使う度にlibraryコマンドで呼び出せばよい data_gumbel <- rgumbel(100) #グンベル乱数100個の発生 data_weibull <- rweibull(100) #ワイブル乱数100個の発生
```

用途	関数名 (コード名:xxx)	説明
確率密度 (pdf)	dxxx(q)	q は確率点を表す.例えばコード名が norm ならば dnorm(q) となる.
累積分布 (cdf)	pxxx(q)	q は確率点を表す.例えばコード名が norm ならば pnorm(q) となる.
確率点 (quantile)	qxxx(p)	p は確率を表す.例えばコード名が norm ならば qnorm(p) となる.
乱数	rxxx(n)	n は生成する乱数の個数を表す.例えばコード名 が norm ならば rnorm(n) となる.

package GAインストール時の注意

以下遺伝的アルゴリズムパッケージGAを 使うので、インストールする必要があるが、 インストール時に同時にC++によるコンパイ ルも行われる。コンパイラはRtoolsという パッケージに含まれている。Rtoolsパッケー ジをインストールしていない場合は、まずこ の作業を済ませること。

例2最適化問題

最大値、最小値を求める最適化問題は、数値解析法でしばしば必要になる. Local maximum, local minimumで悩まされることが多い. Rでは遺伝的アルゴリズムで容易に解決できる. 以下がその例

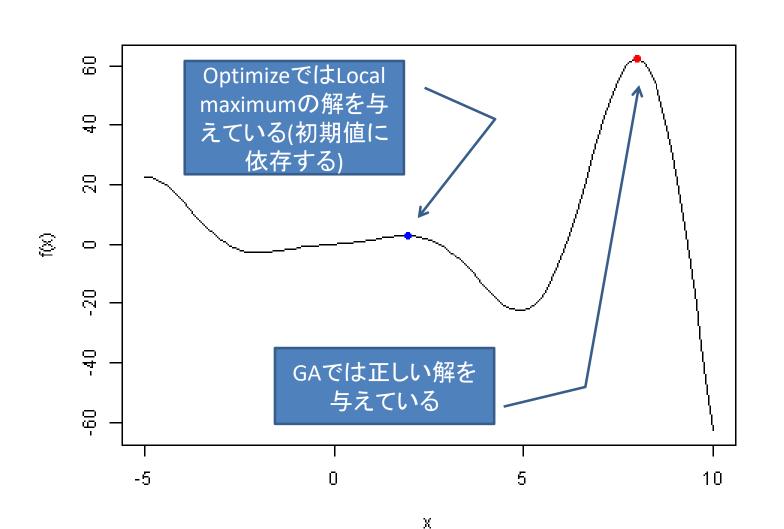
library(GA) #パッケージの読み込み f <- function(x) x^2*sin(x) + x*cos(x) min <- -5; max <- 10 curve(f, min, max, n=100)

#最大値問題を解く最適化問題 #これをよく用いられるoptimizeでやると ans <- optimize(f,lower=min,upper=max,maximum=TRUE) points(ans\$maximum,ans\$objective, col = 4, pch = 19) #青色

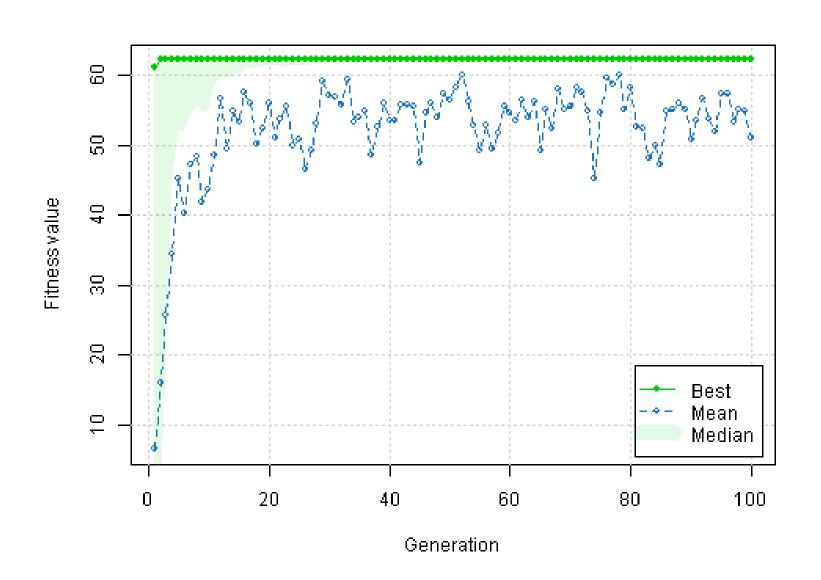
#次に遺伝的アルゴリズムで探索 やるべきことはたったの一行 GA <- ga(type="real-valued", fitness=f, min=min, max=max)

points(GA@solution, GA@fitnessValue, col = 2, pch = 19) #赤色

計算結果の描画



世代ごとのfitness値の変化



パッケージの他の大きな魅力

- 自分の開発したソフトを多くの人に使ってもらう 手段を提供する
- マニュアルや必要データ, exampleも一緒にパックされる
- Rstudioにパッケージ開発サポート機能がついている
- 開発手順は、Rstudio上での開発→GitHubへの公開→CRANへの公開
- CRANへの公開が公式のものであるが厳密な手続きが要求される. その前の段階のGitHubでも十分に使用に耐えられる(酒井はもっぱらこれ)

GitHubについて

- GitHubは、インターネットを通じた複数者の協力によるソフト開発において強力なツールを提供する
- 個人のソフト開発でも極めて有用
- もう一つの大きな機能が、世界中の人にインターネットを通じてパッケージを提供できること

使用例: 酒井が開発した確率紙のパッケージの利用法

install.packages("devtools")

library(devtools)

install_github("ShinsukeSakai0321/ProbPaper")

library(ProbPaper)



一度だけ実行



参考書

「Rパッケージ開発入門」 Hadley Wickham著 オーム社